

平成 28 年度 ふるさと館事業計画

1. ふるさと学習の推進

1) 学校教科にあわせた学習支援

学校の学習单元にあわせて館内の資料を使いながら、体験とともに学習を深められるメニューを用意する。

例：昔の暮らし体験（体験メニュー：石臼体験、洗濯板体験、唐箕、火起こし、勾玉作り など）

○市内・市外 小・中・高校による見学・体験の受け入れ、総合学習など学習、研究の支援

○民宿等（セカンドスクールなど）による見学・体験の受け入れ

○出張講座 市内小学校クラブ活動へのお出張、関連授業へのお出張講座（昔の道具、考古など）

2) 伝統文化の保存・活用

○地域の年間行事、歴史など伝統文化を学ぶための体験教室・講座

6 月「笹もち作り」 12 月「しめ縄作り」 1 月「まゆ玉作り」 2 月「やしょうま作り」

2. 企画・イベントの開催

1) 企画展

①企画展「シリーズ いいやま風土記 『市無形民俗文化財 五束の御柱』」（4 月 21 日～6 月 26 日）

市内各地区を順次紹介するシリーズ。7 年に一度の「御柱」の開催に併せその歴史や実際の祭りの様子、関連の文化財を紹介する。 *事前学習または現地学習 「見よう学ぼう地域の宝『おんばしら学習会』」

②企画展「よみがえる音と映像～通信の発達と変遷～」(7 月中旬～10 月初)

飯山に有線放送開局 60 年、公衆電話やテレビが普及し始めたのもこのころ。当地方の通信の歴史を民俗資料等で紹介。 *体験学習「昔の電話や映写機を使ってみよう」

③企画展「飯山線を走る蒸気機関車」(10 月～12 月)

飯山線を実際に走っていたころの SL 写真を中心に、飯山線の歴史を改めて振り返る企画展示を行う。

④企画展「城下町ひな街道 ひな人形展」(2 月～3 月)

商店街と連携し、城下町飯山のひな人形展の開催

2) 他館と連携した地域学習への取り組み

公民館と共催の学習会や観光課と連携した地域の歴史文化の紹介など。

3) 学びのエリア「秋まつり」の開催

市の社会教育・生涯学習の拠点である学びのエリアのなかで、ふるさと館の資料や友の会・市民学芸員などの特技を活かしテーマを設けたイベントを行うことで、より多くの来館者に地域の歴史や文化を紹介する。

3. 情報発信 企画展や学習会、体験教室などの情報を随時 HP・市報等に掲載し、新鮮な話題・情報を提供する。

4. ふるさと館友の会関係

・友の会先進地視察（年 2 回） ・会誌「奥信濃文化」の発刊（年 2 回） ・友の会各部会

・友の会総会 ・友の会だよりの発行

5. その他

1) 寄贈資料の受け入れ、整理、保管

2) 中学校・高校・教職員研修等の職場体験実習の受け入れ など